

令和7年度 事業報告書

自 令和7年4月 1 日
至 令和8年3月31日

社会福祉法人 はなさき仙北

令和7年度 法人本部 事業報告書

1. 概況報告

平成28年度に認定こども園の運営を開始してから、未来の仙北市を支える子ども達の健やかな成長と発達を見守ってきました。10年目の節目を迎えた令和7年度は、上桧木内地域の大雨災害や周辺に出没するクマとその対策による園庭樹木の伐採など自然の驚異が目立ちましたが、園児たちは被害なく、無事で元気に登園しました。

皆が安心できる子育て環境を整えるため実施した保育料無償化、使用済みおむつの持ち帰り廃止、給食の主食提供に加え、更に今年度は、紙おむつ定額利用サービスの本稼働に向けた整備を行い、また初年度の5歳児健診の実施情報を仙北市保健師と共有し新たな気づきと手厚い保育による子育て支援を実践してきました。

現在、こども園では基準を上回る保育職員数で運営しています。多くの職員を配置し関わることで前述の子育て世帯への支援サービスの充実と厚い見守りで園児一人ひとりに寄り添う丁寧な保育が可能となりました。このことは、確実に不適切保育の根絶にも繋がっていると感じます。また、認定こども園が行う地域子ども・子育て支援事業では、当法人は「地域子育て支援拠点事業 子育て支援センター」と「一時預かり事業」を実施し、いずれにも専門職員を配置し地域の育児家庭への支援が可能になっています。

各園の保育職員が保育の質の向上を目指し虫歯予防に努めた結果、秋田県歯科医師会より「臼井記念歯科保健功労賞」を受賞できました。今後も、保護者支援はもとより、地域に対し施設機能や保育職員の専門的な高いスキルを活かして子育て支援に努めます。

当法人では、人件費の増加や入園児数の減少、施設の老朽化など深刻な課題を抱え、経営環境は非常に厳しい状況です。しかし、法人職員みんなの創意工夫により運営体制と財政基盤を確立し、安心して喜んで登園してもらえるこども園運営と保育福祉サービスを続けることが大事です。

法人の運営状況は、以下のとおりです。

(1) こども園の運営（利用定員）

こども園	園児	利用定員	年間延べ 人数	月平均 人数	定員に対する 充足率
だしのこ園	1号認定	9人	13人	1.1人	12.0%
	2号・3号認定	79人	966人	80.5人	101.9%
	計	88人	979人	81.6人	92.7%
神代こども 園	1号認定	9人	12人	1.0人	11.1%
	2号・3号認定	56人	631人	52.6人	93.9%
	計	65人	643人	53.6人	82.4%

にこにこ こども園	1号認定	6 人	22 人	1.8 人	30.6%
	2号・3号認定	50 人	551 人	45.9 人	91.8%
	計	56 人	573 人	47.8 人	85.3%
ひのきない こども園	1号認定	3 人	0 人	0.0 人	0.0%
	2号・3号認定	20 人	96 人	8.0 人	40.0%
	計	23 人	96 人	8.0 人	34.8%
角館こども 園	1号認定	12 人	61 人	5.1 人	42.4%
	2号・3号認定	170 人	2001 人	166.8 人	98.1%
	計	182 人	2062 人	171.8 人	94.4%

2. 本部の運営並びに事業の状況

(1) 組織の円滑な運営

保育の質を高めつつ、法人を継続して運営するためには、保育教諭等の安定的な確保が大命題ですが、今年度は準職員の保育教諭1名の雇用にとどめました。また、年度内の退職者は全体で13名で、当初151名の保育教諭等の施設職員が年度末には139名となりました。

さらに、少子化に伴って利用定員に対する充足率が前年度より減少したため、給付費収入へ影響を受けることになりました。

今後は、入園児の動向及び退職予定者を注視しながら、利用定員の見直しと計画的な職員の採用を進め、収支を含めバランスの取れた運営を図ります。

(2) 法人全体の連携について

定期的な園長会議を開催し、法人の運営及び各園の状況等について情報を共有することで連携の強化を図りました。また、仙北市主催の園長等関係者会議、並びに仙北市子ども・子育て会議等への参加により情報の収集に努めました。

幼児教育から小学校教育への円滑な接続を目的とした仙北市園小連携委員会、更に、今年度では各園と小中学校との合同引き渡し訓練(5月26日実施)等を通じて共通理解を深めました。法人の各拠点間のほか、仙北市との間でも連携を強化してきました。

(3) 職員の資質向上について

教育・保育の質の向上のために、キャリアアップ研修等の外部研修への参加はもとより、得た知識や技術を現場での保育において反映することに努めました。

今年度も独自の「はなさき仙北研修会」(5月～2月)では、副園長を中心に公開保育、情報交換等を行い、各園の参加者は、他園の保育の手法を感じながら日常の保育業務と併せた長期間の大きな負担を乗り越えて、保育力の底上げを図りました。

(4) 地域子ども・子育て支援事業について

①地域子育て支援拠点事業 子ども支援センター

地域交流活動の一環として、各園において子ども支援センターを設置し、地域の未就園児の親子等に相談窓口や親子同士で交流できる広場を提供しました。今年度は、毎月定例開催のほか、各園の支援センターを合同開設とし、1回目「ミニ夏祭り」(7月)、2回目「喫茶はなさき」(8月)を開催しました。職員の趣向を凝らした工夫で参加した親子が楽しい機会をつくることができました。

②一時預かり事業

在園児以外で、一時的な保育が必要となった家庭への支援事業です。各園と仙北市との協働により、様々な事情に対応しながら支援を行いました。

(5) ひのきないこども園の休止措置

大きな少子化の影響を受ける桜木内地域において、ひのきないこども園の在園児は8名、更に翌年度の入園希望が皆無となり、こども園の運営を休止する決定をしました。秋田県と仙北市の双方に休止の報告を申請し認可されました。今後の園運営について閉園措置を視野に仙北市と協議を進めて行きます。

(6) 施設の維持管理について

園児にとって安心して安全に遊び過ごせる施設・設備は当法人の基本となりますが、各施設とも老朽化に伴い、建物修繕・機器更新等の必要性が増大しています。園児と職員全員の安全確保を最優先とした保育環境の維持を図りました。

○今年度の維持管理に係る修繕・更新等の主なもの

①消防設備機器関係(4園)	1,280,000円
②屋根・壁面等改修工事(神代)	5,423,000円
③受電設備高圧機器更新工事(神代・角館)	5,720,000円
④調理器具関係(4園)	5,180,000円
⑤エアコン等空調機器更新関係(4園)	23,270,000円
⑥遊具設置工事(角館)	2,695,000円
⑦その他建物関係(4園)	1,198,000円

3. 評議員・理事・監事

今年度は、評議員、理事、監事がそれぞれ改選の年となりました。評議員の選任にあつては、評議員選任・解任委員会を設置のうえ決定されました。

今期の委員、評議員、理事、監事の方々は次のとおりです。(欠員0人)

○評議員選任・解任委員会

No.	外部委員氏名	No.	内部委員氏名
1	高 田 光 一	3	田 口 和 典
2	橋 本 勲	4	杉 本 貴 志

*任期：令和7年6月19日～選任後4年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終了時まで

○評議員

No.	氏 名	No.	氏 名	No.	氏 名
1	草 薨 悟	4	高 橋 日 子	7	大 沢 純 子
2	加 藤 隆 政	5	佐 藤 節 子	8	浦 山 昇
3	糸 井 ミ エ	6	羽 川 茂 幸	9	川 井 朋 子

*任期：令和7年6月19日～選任後4年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終了時まで

○理事長及び理事

No.	理事長 氏 名	No.	理 事 氏 名	No.	理 事 氏 名
1	倉 橋 典 夫	2	坂 本 佐 穂	5	伊 藤 州 子
		3	眞 崎 勲	6	草 薨 良 子
		4	佐 川 俊 也	7	松 田 良 子

*任期：令和7年6月19日～選任後2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終了時まで

○監事

No.	氏 名
1	田 口 和 典
2	藤 村 好 正

*任期：令和7年6月19日～選任後2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終了時まで

4. 評議員会の開催状況

第1回 定時評議員会 令和7年6月19日（木） 9時30分

評議員出席者7名（1名欠員、1名急逝）・監事出席者2名

○議 題

- （1）令和6年度計算書類及び財産目録の承認について（原案承認）
令和6年度事業報告・監査報告（決算監査）
- （2）次期役員の選任について

○報 告

- (1) 経過報告
- (2) 監事の監査結果について（令和6年度第4四半期）
- (3) 行政官庁が実施する検査又は調査結果について
- (4) 理事長専決事項について
- (5) 理事会決議事項について
- (6) 予備費の使用について

5. 評議員選任・解任委員会の開催状況

令和7年度評議員選任・解任委員会 令和7年6月19日（木） 16時00分

外部委員2名・内部委員2名（監事1名・事務局1名）

理事長・事務局職員1名

○議 題

- (1) 評議員の選任について（原案承認）

6. 理事会の開催状況

第1回 定例会 令和7年6月4日（水） 9時30分

理事出席者6名・監事出席者2名

○議 題

- (1) 幼保連携型認定こども園園則（運営規程）の一部改正について（原案承認）
- (2) 準職員就業規則の一部改正について（原案承認）
- (3) 休暇等に関する規程細則の一部改正について（原案承認）
- (4) 令和6年度事業報告及び収支決算の承認について（原案承認）
監査報告
- (5) 役員等賠償責任保険契約について（原案承認）
- (6) 次期役員候補者の選考について（原案承認）
- (7) 次期評議員選任候補者の推薦について（原案承認）
- (8) 定時評議員会の招集について（原案承認）

○報 告

- (1) 経過報告
- (2) 監事の監査結果について（令和6年度第4四半期）
- (3) 行政官庁が実施する検査又は調査結果について
- (4) 理事長専決事項について
- (5) 予備費の使用について

第2回 定例会（臨時会） 令和7年6月19日（木） 14時00分

理事出席者7名・監事出席者2名

○議 題

- （1）理事長の選定について（原案承認）
- （2）評議員選任・解任委員会の委員の選任について（原案承認）
- （3）評議員選任・解任委員会の招集について（原案承認）

第3回 定例会

令和7年11月26日（水） 9時30分

理事出席者7名・監事出席者2名

○議 題

- （1）育児休業等に関する規則の一部改正について（原案承認）
- （2）令和7年度11月補正予算について（原案承認）

○報 告

- （1）経過報告
- （2）監事の監査結果について（令和7年度第1四半期・第2四半期）
- （3）理事長専決事項について
- （4）予備費の使用について

第4回 定例会（臨時会） 令和8年1月20日（火） 10時00分

理事出席者7名・監事出席者2名

○議 題

- （1）幼保連携型認定こども園ひのきないこども園の休止について（原案承認）

第5回 定例会

令和8年2月26日（木） 9時30分

理事出席者7名・監事出席者2名

○議 題

- （1）幼保連携型認定こども園園則（運営規定）の一部改正について（原案承認）
- （2）給与規程の一部改正について（原案承認）
- （3）給与規程細則の一部改正について（原案承認）
- （4）準職員就業規則の一部改正について（原案承認）
- （5）職員の初任給、昇格、昇給等に関する規程の一部改正について（原案承認）
- （6）職員の兼業等の許可に関する取扱規程の制定について（原案承認）
- （7）令和7年度2月補正予算について（原案承認）
- （8）令和8年度事業計画及び令和8年度資金収支予算について（原案承認）
- （9）園長の選任について（原案承認）
- （10）給与規程の一部改正について（追加）（原案承認）

- (11) 準職員就業規則の一部改正について（追加）（原案承認）

○報 告

- (1) 経過報告
- (2) 監事の監査結果について（令和7年度第3四半期）
- (3) 行政官庁が実施する検査又は調査結果について
- (4) 理事長専決事項について
- (5) 予備費の使用について

7. 役員会の開催状況

今年度は、以下の4園を訪問し視察を実施しました。

- ・ 1日目 令和7年10月21日（火）
 訪問先： 角館こども園、にこにここども園
- ・ 2日目 令和7年11月18日（火）
 訪問先： だしのご園、神代こども園

8. 幼保連携型認定こども園の指導監査について（秋田県教育庁南教育事務所）

（1）対象施設

- | | | |
|-------------|---------------|--------|
| ① だしのご園 | 令和7年12月15日（月） | [簡易監査] |
| ② 神代こども園 | 令和7年11月20日（木） | [簡易監査] |
| ③ にこにここども園 | 令和7年11月18日（火） | [簡易監査] |
| ④ ひのきないこども園 | 令和7年11月27日（木） | [簡易監査] |
| ⑤ 角館こども園 | 令和7年11月27日（木） | [通常監査] |

（2）令和7年度指導監査の実施結果（通知）

教南一992 令和8年1月30日付 ： 文書指摘事項なし

9. 幼保連携型認定こども園の指導監査について （所管：仙北市社会福祉課）

今年度は未実施

10. 子ども子育て支援法に基づく特定教育保育施設の指導監査（確認監査）について （所管：仙北市こども家庭センター）

今年度は未実施

1 1. 監事による監査の実施状況

(1) 決算監査

日時：令和7年5月22日（木） 10時00分

内容：(1) 令和6年度事業報告等

(2) 令和6年度計算関係書類、財産目録

意見・指摘事項：

(1) 事業報告等の監査結果

①事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示している。

②理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実認められない。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

①計算関係書類及び財産目録は、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示している。

(2) 定期監査

①令和6年度第4四半期（令和7年1月～3月）

日時：令和7年5月22日（木） 10時00分

内容：令和6年度第4四半期の業務執行状況及び会計処理について

意見・指摘事項：指摘事項なし

②令和7年度第1四半期（令和7年4月～6月）

日時：令和7年8月7日（金） 10時00分

内容：令和7年度第1四半期の業務執行状況及び会計処理について

意見・指摘事項：指摘事項なし

③令和7年度第2四半期（令和7年7月～9月）

日時：令和7年11月7日（金） 10時00分

内容：令和7年度第2四半期の業務執行状況及び会計処理について

意見・指摘事項：指摘事項なし

④令和7年度第3四半期（令和7年10月～12月）

日時：令和8年2月5日（木） 10時00分

内容：令和7年度第3四半期の業務執行状況及び会計処理について

意見・指摘事項：指摘事項なし

(3) 随時監査

今年度は未実施

1 2. 資金収支決算（別紙のとおり）

令和7年度 幼保連携型認定こども園 だしのこ園 事業報告書

1. 概況報告

本園では、「やさしく げんきに たくましく」遊びの中の学びや豊かな体験を積み重ね、子どもたちの生きる力を育むことを目標としている。

令和7年度は『人との関わりを楽しめる子どもを目指して～伝えたい 聴いてみたい姿を探る～』を重点に、やりたい遊びのイメージを保育者が捉えて共通の体験を大切にしてきたことで豊かな表現がたくさん見られた。自分の思いを伝えながら、友達関係が広がったり深まったりする姿につながったと感じている。

経営の方針

① 子どもの遊びの充実

子どもたちが自分らしさや自分の得意なことを生かし、夢中で遊び込む姿を目指し、保育者の援助や環境の構成について考え、保育に取り組んできた。子どもたちが意欲をもち、あきらめずに取り組む姿、夢中で遊ぶ姿、子どもたちの発想から広がる楽しい遊びなど充実した姿につながっていることを実感した。

② 保育者の研修の充実

様々な園外研修を通して職員の専門性を高め、職員で共有してきた。
園内研修では、公開保育の実施、記録や指導計画の工夫と見直し、保育についての協議を深めながら主体的な子どもの姿を目指し、全職員で研修に取り組んできた。

③ 家庭との連携と子育て支援の工夫

一人一人の保護者との関わりを大事にし、子どもの園生活の様子を伝える工夫、子どもを育てていく楽しさや成長とともに喜び合える関係を築くように心がけてきた。

子育て支援については、園開放も含めて未就園児の親子が気軽に利用できる雰囲気作りや子育てルームの内容を工夫し、交流や子育ての情報交換など地域の子育て支援センターとしての役割を果たしてきた。

④ 小学校との連携と地域との交流

小学校との連携については、授業参観や保育参観、会議、児童との交流など計画に沿って園と学校の連携を図っている。

地域との交流については、地域の行事に積極的に参加し、地域の人たちとの交流の機会を大事に取り組んできた。

⑤ 安全衛生の意識向上と防災教育の推進

避難訓練と安全指導は、毎月計画的に実施している。子どもたちは訓練を重ねることで指示に従うこと、安全に避難することなど身についてきている。事故や感染症の予防対策のほか、様々な状況を想定しての対応訓練を全職員で行うことが、子どもの命を守するという意識

につながってきている。

2. 利用定員

(単位:人)

年 齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
1号認定				3人	3人	3人	9人
2・3号認定	9人	14人	12人	19人	15人	10人	79人

3. 認定別・月別園児数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1号認定	4	4	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	13
2・3号認定	75	76	76	79	80	80	83	83	83	83	84	84	966
合 計	79	80	80	79	80	80	83	83	83	84	84	84	979

4. 月別活動記録(園児分)

月 日	活動内容	成 果	月 日	活動内容	成 果
4 月 7日	新しいお友達を迎える会	入園を祝う	11月6日	歯磨き指導(5歳児)	正しい歯の磨き方
4 月22日	保育参観・保護者会総会	保護者との連携	11月14日	サッカー教室②(4, 5 歳児)	スポーツの楽しさ
4 月30日	交通安全教室(5歳児)	安全意識の向上	11月19日	保育参観、親子リズム遊び(0, 1歳児)	親子の触れ合い
5 月 9日	園外保育(5歳児)	自然体験	11月29日	発表会(以上児)	表現活動を楽しむ
5 月26日	園小中合同引き渡し訓練	対応訓練	12月3日	わんぱくフェスタ	祖父母参観
6 月13日	総合避難訓練	避難の仕方を知る	12月24日	クリスマス会	行事や会を楽しむ
6 月20日	親子遠足	親子の触れ合い 動物への関心	1月16日	人形劇鑑賞	言語・情緒発達
6 月27日	はたらく車見学会	保護者会・地域活動	1月21日	園外保育(4, 5歳児そり遊び)	雪遊びを楽しむ
7 月 19日	夏まつり	親子で行事を楽しむ	1月23日	園外保育(3 歳児そり遊び)	雪遊びを楽しむ
7 月23日	園外保育(4.5 歳児)	収穫の楽しさ、自然体験	2 月3日	豆まき会	伝統行事を知る
9 月12日	園外保育(4 歳児)	散策、不思議体験	2月16日	保育参観(5 歳児)	成長の喜び
9 月19日	園外保育(5 歳児)	自然体験、体を動かす楽しさ		入学説明会、学校探検	学校生活への期待
9 月27日	親子運動会	親子で運動を楽しむ	2 月20日	母の会交通安全教室(5 歳児)	交通安全の意識向上
10月3日	園外保育(4, 5歳児)	収穫の楽しさ、自然体験	2月26日	保育参観(0 歳児～4 歳児)	成長の喜び
10月8日	サッカー教室①(4, 5歳児)	スポーツの楽しさ			
10月9日	就学時健診(5歳児) 園外保育(3歳児)	就学への期待 自然散策	3 月3日	ひな祭りお茶会	伝統文化に触れる
10月21日	総合避難訓練	避難方法、消防の役割	3 月6日	お別れ会	異年齢の交流
10月22日	就学時歯科検診	就学への期待	3 月11日	卒園式予行・祖父母参観	成長の喜び
10月23日	園外保育(5歳児)	鉄道体験	3 月14日	卒園式	成長の喜びと誇り
11月4日	1年生お里帰り	児童との交流	3 月19日	進級を祝う会	進級への期待
11月5日	中学生職場体験	中学生との交流	3 月28日	離任式	感謝の気持ち
避難訓練・安全指導・誕生会…毎月 5/9、10/3～農業科学館 6/20～大森山動物園 7/23～生保内(ブルーベリー狩り) 9/12～ふるさと村 9/19～田沢湖高原 10/9～モリボの里 10/23～内陸線鉄道基地見学 1/21、1/23～たざわ湖スキー場 内科検診(5/20、11/4) 歯科検診(6/18) 保護者会活動 ～ 除草作業(6/3、7/1、9/3) 広報発行 保護者学習会開催					

5. 職種別職員配置状況

(令和8年 3月31日現在)

	園長	副園長	保育教諭	保育補助	栄養士	調理員	調理補助	用務員	嘱託医薬剤師	合 計
正規職員	1	2	14		1	1		1		20
準 職 員			7	5		2	1			15
委託職員									3	3
合 計	1	2	21	5	1	3	1	1	3	38

＊地域子育て支援拠点事業 配置職員 2名

一時預かり事業 配置職員 2名

6. 教育・保育の提供時間及び職員の勤務体制・勤務時間

開 園 時 間	： 7 時 30 分～18 時 30 分	勤務体制・勤務時間
教育標準時間認定： 8 時 30 分～15 時 30 分		早出1 ： 7 時 30 分～16 時 15 分
保育標準時間認定： 7 時 30 分～18 時 30 分		早出2 ： 8 時 00 分～16 時 45 分
保育短時間認定 ： 8 時 30 分～16 時 30 分		日 勤 ： 8 時 30 分～17 時 15 分
		遅出1 ： 9 時 00 分～17 時 45 分
＊保育認定は、上記の範囲内で必要とする時間		遅出2 ： 9 時 45 分～18 時 30 分

7. 職員研修実績

(1) 園外での職員研修は、リモートも含め、今年度は、参加研修74回、延べ人数104人。

様々な内容の研修を通して保育の専門性の向上につながっていると感じている。

研修後の復命は、書面と口頭での復命をすることで、自身の研修の確認になっている。

また、研修後は他の職員へ周知及び知識の習得になるよう研修の伝達の機会を設けるようにしている。

(2) 園内研修では、研究テーマを『人とのかかわりを楽しめる子どもを目指して～伝えたい、聴いてみたい姿を探る～』とし、「伝え合うことや、言葉を使って表現することの楽しさを感じる姿」や「自分の思いや考えを伝え合い、遊びを展開する面白さや充実感を味わう姿」にポイントを置き、そのための環境の構成を重点に話し合いを重ねてきた。

エピソード記録、保育を見合う会、園内公開保育など研修の実践、振り返り、見直し、改良をしていくことで子どもの変容、保育者の手ごたえを感じられる充実した研修につながったと感じている。

8. 学校評議員会・職員会議・委員会等実施内容

(1) 学校評議員会…定例会議(6月・2月)、園運営に関するご意見、学校評価への講評

- (2) 職員会議…定例会議(毎月)、各委員会会議(随時)、行事等の会議
- (3) 給食委員会、安全指導委員会、保健衛生委員会…毎月開催
- (4) 特別支援委員会…毎月開催、教育専門監等における相談支援(2回)、事例研修等

9. 災害訓練・健康管理・衛生管理等実施内容

- (1) 災害訓練及び対応訓練
 - 避難訓練・安全指導(毎月)、総合避難訓練(6月・10月)、安全点検(毎月)
 - 職員の不審者対応訓練(1回は仙北警察署との訓練)、発電機使用の訓練
 - ノロウイルス・感染症対応訓練、アレルギー対応訓練、AED 講習
- (2) 健康管理
 - 園児：内科検診(5月・11月)、歯科検診(6月)、入園時内科検診(随時)
 - 3歳以上児聴力・視力検査
 - ・3歳児・4歳児～聴力7月 視力7月
 - ・5歳児 ～聴力7月 視力5月
 - 職員：健康診断(年1回)、全職員腸内細菌検査(年2回)
 - 給食関係者及び乳児担当者腸内細菌検査(毎月)、ノロウイルス検査(年6回)
- (3) 衛生管理
 - 園内清掃(毎日)・保育室等消毒(週1回、未満児クラスは毎日)、園外(動物の糞対策)
 - 薬剤師による環境衛生検査(換気、照度、空気、ダニ)

10. 一時預かり事業

- (1) 幼稚園型…仙北市預かり保育事業業務を受託して実施。 延べ利用者人数は、26人。
- (2) 一般型 …仙北市一時保育事業業務を受託して実施。 延べ利用者人数は、19 人。

11. 地域子育て支援拠点事業

子育て支援室において、担当職員2名を配置して、子育て中の保護者の交流の場として活用されている。

だしっこルーム36回、利用者は44組、延べ89人であった。家庭で育児をしている母親たちは、地域の親子と触れ合う機会が少なく、不安やストレスを抱えがちなので、話をしたり、園の行事に参加したりすることで、親も子どもも楽しい時間を過ごせることが心の安定につながっている。

令和7年度 幼保連携型認定こども園 神代こども園 事業報告書

1. 概況報告

生きる力の基礎となる資質・能力を育てるため、子どもが自ら遊びに取り組もうとする意欲、思考力や想像力が育まれる環境づくりを意識し、様々な経験ができる保育を実践し、子どもたちの心身の成長、発達を促すようにしてきた。熊の出没で園外での活動が限られたものの、自然に触れる活動や地域のよさを知る活動を園外保育や戸外遊びを工夫しながら行った。また、保育活動の内容から異年齢で一緒に行うことができるものは一緒に楽しむことで様々な刺激となり、自己を発揮したり意欲をもって取り組んだり、友達と楽しさを共有する姿になっている。支援の必要な園児については特性や支援の仕方について全職員で周知するとともに、周囲の環境と関わり、様々な体験ができる保育を行ったことで成長につながっていった。

(1) 教育・保育部門

重点目標を『自ら、体を動かし、友達と一緒に伸び伸びと遊ぶ子どもを育む』とし、友達と一緒に楽しみながら体を動かす子どもの姿を目指すとともに、人との関わりやコミュニケーション面も成長するよう、保育者は意図的に環境を構成したり、異年齢で遊んだり活動したりする機会をもつなど取り組んできた。また、遊びの中で経験していることを保育者が見取り、成長につながる援助をすることで子どもが自ら遊びに向かい、試行錯誤したり意欲をもって取り組んだりする姿が見られた。

(2) 給食部門

食は健やかな子どもの育成の基盤と捉え、食べる楽しみと食の大切さを伝えながら、おいしく栄養バランスに考慮した給食を提供してきた。アレルギー児に対しては、家庭と連携し、マニュアルの順守とチェック体制で、安全に十分な配慮をして除去食を提供してきた。

2. 利用定員

(単位:人)

年 齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
1号認定				3人	3人	3人	9人
2・3号認定	6人	10人	13人	7人	11人	9人	56人

3. 認定別・月別園児数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1号認定	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
2・3号認定	51	51	51	52	52	52	54	54	54	55	55	56	637
合 計	52	52	52	53	53	53	55	55	55	56	56	57	649

4. 月別活動記録(園児分)

月 日	活動内容	成 果	月 日	活動内容	成 果
4月1日	保育始まり	進級を喜ぶ	10月 23 日	園外保育(5) 内陸線阿仁合駅	地域を知る
4月4日	入園を祝う会	入園を祝う	11月13日	保育参観日	子の成長の相互理解
4月19日	保育参観・保護者会総会	子の成長の相互理解	11月19日	人形劇鑑賞	心情を豊かにする
5月13日	園外保育(4.5) 秋田空港・みらいあ	航空機等に関心をもつ	11月 28 日	内科検診Ⅱ	体と健康について知る
5月22日	園外保育(3)神岡中央公園	季節を感じながら、 体を動かして遊ぶ	12月 4 日	発表会予行・祖父母参観	表現を楽しむ
5月30日	内科検診Ⅰ	体と健康について関心をもつ	12月 6 日	発表会(3,4,5)	表現を楽しむ
5月30日	さつまいも苗植え	生長を楽しみにする	12月25日	クリスマス会	季節の行事を楽しむ
6月14日	親子運動遊び(3,4,5)	親子で運動を楽しむ	2月 2 日	そりすべり遠足(3,4,5)	自然に親しむ
6月 17・19 日	みんなの登園日	子の成長の相互理解	2月 3 日	豆まき会	日本古来の行事に親しむ
6月18日	歯科検診	歯に関心をもつ	2月 6 日	保育参観日(5)	子の成長の相互理解
6月 30 日	園外保育(4,5) ふるさと村	星や自然に関心をもつ	2月13日	保育参観(3,4) 進級説明会	子の成長の相互理解
7月 19 日	夏まつり	季節の行事を楽しむ	2月 25 日	保育参観日(0,1,2) 親子音楽遊び	子の成長の相互理解 親子で音楽遊びを楽しむ
7月24日	不審者対応訓練(外部指導)	危機管理	3月 3 日	ひな祭りお茶会 ひな祭り会	お茶の作法を知り味わう・日本古来の行事に親しむ
8月下旬	視力検査	眼や見ることに関心をもつ	3月 11 日	お別れ会	成長を喜び合う
9月上旬	聴力検査	耳や聞こえることに 関心をもつ	3月 16 日	卒園式予行・祖父母参観	成長への感謝をもつ
9月27日	運動会	運動を楽しむ	3月18日	卒園式	卒園を祝う
10月 3 日	さつま芋ほり	収穫を喜ぶ	3月19日	修了式	修了を祝う
10月 8 日	親子遠足(3,4,5)	学年親子間の交流			
10月 9 日	総合避難訓練	危機管理			
10月 20 日	園外保育(3,4)田沢湖	地域を知る 自然に親しむ			

毎月実施～誕生会・安全指導・避難訓練は毎月実施 保護者面談(5月～6月) 保護者会環境整備(5月、7月、9月)

5. 職種別職員配置状況

(令和 8 年 3 月 31 日現在)

	園長	副園長	保育 教諭	保育 補助	栄養士	調理員	調理 補助	用務員	看護師	嘱託医 薬剤師	合 計
正規職員	1	2	12		1	1		1			18
準 職 員			5	3		2			1		11
委託職員										3	3
合 計	1	2	17	3	1	3		1	1	3	32

* 地域子育て支援拠点事業 配置職員 1名 一時預かり事業 配置職員 2名

6. 教育・保育の提供時間及び職員の勤務体制・勤務時間

開 園 時 間	： 7 時 30 分～18 時 30 分	勤務体制・勤務時間
教育標準時間認定	： 8 時 30 分～15 時 30 分	早出1 ： 7 時 30 分～16 時 15 分
保育標準時間認定	： 7 時 30 分～18 時 30 分	早出2 ： 8 時 00 分～16 時 45 分
保育短時間認定	： 8 時 30 分～16 時 30 分	日 勤 ： 8 時 30 分～17 時 15 分
*保育認定は、上記の範囲内で必要とする時間		遅 出 ： 9 時 45 分～18 時 30 分

7. 職員研修実績

(1) 園外研修

オンラインと対面での研修に積極的に参加し、保育の質の向上に努めた。専門性の観点で学ぶことで、意識が更に高まり、自己の振り返りや保育に生かすこと、意欲をもって保育をすることにつながっている。外部研修参加は55回であった。また、はなさき仙北研修会は17回開催。各園が学年別公開保育を行い、参加した。自園での公開保育や他園の保育を参観し、話し合うことで、多様な子ども理解、保育の振り返りや気づきを伝え合う機会になり、保育力の向上と保育者としてのステップアップにつながっている。

(2) 園内研修

テーマを「体を動かすってのいいね、笑顔！挑戦！～失敗しても大丈夫！一緒にやってみよう！～」とし、人と関わる部分に焦点を当て、人と関わったり、合わせたり、競ったりしながら様々な動作が経験できるよう、保育者は意図的に環境を構成し、実践した。実践からの検証や計画の見直し、職員の共通理解を図り、進めていった。研究方法を明確にすることで保育者も楽しみながら取り組むことができ、成果につながっていった。また、保護者へ取組の発信を行い、園で目指していることや友達と一緒に体を動かして遊ぶ大切さの理解を図った。

8. 学校評議員会・職員会議・運営委員会・給食会議等実施内容

(1) 学校評議員会

定例会議を2回。2回目は学校評価委員会を兼ねて開催した。多方面からご意見や気づきを頂き、園運営の改善につなげることができた。入園式、保育参観、夏祭り、発表会、卒園式などの行事には案内を出し、参加してもらうことで子どもの姿や運営等、知って頂く機会となった。

(2) 職員会議

定例会議(毎月)、各委員会会議、行事担当者会議

(3) 運営委員会

生活と保育の状況を確認しつつ、行事、研修、保護者支援等の運営全般にわたり話し合う。
(メンバー構成～園長、副園長、主幹保育教諭、一時預かり担当主査保育教諭)

(4) 食育委員会

毎月開催。給食全般についての意見・情報交換とアレルギー児の情報の共有。食育の進め方について話し合う。

(5) 安全、衛生委員会

- ・避難訓練、安全指導の評価・改善及びヒヤリハット事例を基に改善策について話し合う。
- ・衛生に関わる職員の研修を計画し、実践研修を行う。

9. 災害訓練・健康管理・衛生管理等実施内容

(1) 災害訓練

避難訓練(毎月)、総合避難訓練(10月)、安全点検(毎月)、安全指導(毎月)

(2) 健康管理

園児:内科検診(5月・11月)、歯科検診(6月)、入園時内科検診(随時)

尿検査、視力・聴力検査(3歳以上児)

職員:健康診断(年1回)・検便(年2回)、給食関係者及び乳児担当者検便(毎月)

給食関係者(ノロウイルス検査6回)、乳児担当者(ノロウイルス検査6回)

(3) 衛生管理

清掃、消毒、害虫駆除・予防対策

10. 一時預かり事業

- (1) 幼稚園型…仙北市預かり保育事業業務を受託して実施。 延べ利用者人数は、20人。
- (2) 一般型 …仙北市一時保育事業業務を受託して実施。 延べ利用者人数は、99人。

11. 地域子育て支援拠点事業

子育て支援室において、専属の職員を配置し、毎週金曜日9時30分から11時30分まで「わいわい広場」を開催した。開催内容を楽しんだり、子育て中の保護者がゆったりと子どもと過ごしたり、交流の場として活用されたりした。40回開催したが、地域の未就園児がいないこともあり、利用者人数は、延べ26人(12組)であった。参加人数の減少から、はなさき仙北5園での合同開催も行った。2回開催し、7組と5組の親子が参加、未就園児の親子が楽しめる内容の工夫があり、好評であった。

支援室を使用し、自由に遊んだり過ごしたりする園開放も平日行っている。3回の利用があった。育児等の相談にも専門性を生かして応じている。

12. 園児への虐待防止に向けての取組

- (1) 虐待防止マニュアル、チェックシートからそれぞれの保育行為を振り返る。
- (2) 職員倫理行動基準、虐待防止対応規程を周知、順守する。
- (3) 園内虐待防止委員会を機能させる。
- (4) 保護者・第三者・職員による保育サービス適正化委員会を開催する。

令和7年度 幼保連携型認定こども園 にこにここども園 事業報告書

1. 概況報告

重点目標を「やさしさを わかちあい 自分らしく遊べるこども」とし、自分らしさを出して相手と関わる中で、相手の思いやりやさしさを感じられるよう関わることを大切にしました。保育者の、年齢に合った温かな関わりの中で、他児とのやり取りも相手の思いを感じて折り合いを付けて遊ぶ姿が多くみられるようになった。

(1) 教育・保育部門

園目標「心豊かに たくましく広がれ にこにこの輪」から取った「にこにこ いっしょに」のキャッチフレーズを掲げていくことで、職員も園目標の理解と具現化に努めようとし、保育や行事の中での工夫がみられた。子どもの姿に迫るための記録の継続にも必要性和面白みを感じて取り組んでいる。記録を見合い、子どもの視点に立った意見を臆することなく話し合いの中で出し、子どもの育ちを共通理解したり、保育者の思いや願いを互いに分かり合うことで保育の充実につながった。

(2) 給食部門

「楽しくたべる」ことを大切に、栄養価を満たすことはもちろん、体も心も育まれるように、という願いを込めて給食を提供している。子どもの給食時には様子を見て声を掛けたり、食育会議での保育者との情報の共有を図っている。

また、アレルギー児に対しては、家庭と連携し、安全に配慮しながら、除去食を提供している。栽培活動や、「だまこなべっこ会」等みんなで食べる喜びや、食事への興味が持てる環境づくり・食育活動に努めている。

2. 利用定員

(単位:人)

年 齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
1号認定				2 人	2 人	2 人	6 人
2・3号認定	6人	7人	4人	10人	12人	11人	50人

3. 認定別・月別園児数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1号認定	2	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	1	21
2・3号認定	43	44	44	45	47	47	47	47	48	48	47	48	555
合 計	45	45	45	47	49	49	49	49	50	50	49	49	576

4. 月別活動記録(園児分)

月 日	活動内容	成 果	月 日	活動内容	成 果
4月10日	入園式	入園を祝う	12月6日	発表会	表現を楽しむ
5月26日	園小中合同引き渡し訓練	危機管理	12月9日	ミニ発表会	表現を楽しむ
5月28日	3.4.5 歳児保育参観	親子の触れ合い	12月24日	クリスマス会	季節の行事
6月3日	3.4.5 歳児親子遠足	親子の触れ合い	1月19日	だまこなべっこ祖父母参観日	祖父母との触れ合い
6月9日	ぎつみもの苗配	生長を楽しむ	2月3日	豆まき会	季節の行事
6月30日	重機体験	地域の行事	2月4日	4歳児保育参観	成長を喜ぶ
7月19日	夕涼み会	表現を楽しむ	2月9日	0,1,2 歳児保育参観	親子の触れ合い
9月17日	総合避難訓練	危機管理	2月10日	紙風船上げ	地域の行事
9月25日	0.1.2 歳児保育参観	親子の触れ合い	2月12日	5歳児保育参観	親子の触れ合い
10月7日	西明寺小マラソン大会見学&なべっこ会	園小連携	3月3日	ひな祭り会	季節の行事
10月11日	運動会	運動を楽しむ	3月13日	進級を祝う会	卒園を祝う
11月10日	不審者対応訓練	危機管理	3月19日	卒園式	卒園を祝う
11月19日	合同人形劇	表現を楽しむ	3月23日	進級を祝う会	成長を喜び合う
11月20日	フリー参観日	親子の触れ合い			
毎月実施～誕生会・安全指導・避難訓練 内科検診(5月、10月) 歯科検診(6月) 聴力、視力検査(2月) 園外保育～ りんごの花見、りんご狩り(果樹への関心～農業科学館) 地域を知る(神岡中央公園、角館祭り見学、秋田空港)、 そり遊び 保護者会環境整備(9月) 保護者会研修(救命救急講習 10月)(足育講座 11月)					

5. 職種別職員配置状況

(令和8年3月31日現在)

	園長	副園長	保育教諭	保育補助	栄養士	調理員	調理補助	用務員	嘱託医薬剤師	合 計
正規職員	1	2	12		1	1				17
準 職 員			2	3			2	1		8
委託職員									3	3
合 計	1	2	14	3	1	1	2	1	3	28

*地域子育て支援拠点事業 配置職員 1名 一時預かり事業 配置職員 2名

6. 教育・保育の提供時間及び職員の勤務体制・勤務時間

開 園 時 間	： 7 時 30 分～18 時 30 分	勤務体制・勤務時間
教育標準時間認定	： 8 時 30 分～15 時 30 分	早出1 ： 7 時 30 分～16 時 15 分
保育標準時間認定	： 7 時 30 分～18 時 30 分	早出2 ： 8 時 00 分～16 時 45 分
保育短時間認定	： 8 時 30 分～16 時 30 分	日 勤 ： 8 時 30 分～17 時 15 分
*保育認定は、上記の範囲内で必要とする時間		遅 出 ： 9 時 45 分～18 時 30 分

7. 職員研修実績

(1) 園外研修

幼保推進課、各保育協議会の主催による園外研修及びキャリアアップ研修、仙北市主催の研修では、内容を理解し、保育実践につないでいる。

参加研修回数66回、うちオンライン研修が13回という内訳だが、対面研修とオンライン研修の両方の良さを受け入れ、意欲的に学び、保育力の向上につなごうとしていることが、復命等からも伺えた。

はなさき仙北の研修でも、ねらいを捉えた子どもの姿に迫るエピソードの記述がされており、話し合いを深め、明日の保育に役立つヒントを得ている。(参加回数28回)

(2) 園内研修

テーマを「やってみたい やってみよう 自ら心を動かして遊ぶ子どもを目指して」～やりたいが継続するための援助や環境の構成を考える～ とした。

子ども一人一人の思いを、一歩踏み込んだ保育記録を手掛かりとして読み取ることや、保育を見合い、話し合う機会を設けることで、目の前の子どもへの適切な関わりや環境構成を探った。

次年度に向けては、環境構成についてより適切な構成の仕方を、記録と実際を見比べ検証し再構成していくことや、公開保育を参考に具体的な取り組みを学ぶ等、研修に対する意欲を継続している。

8. 学校評議員会・職員会議・委員会・給食会議等実施内容

(1) 学校評議員会

定例会議を2回行った。1 回目は子どもの様子を見てもらい、昨年度の園評価から今年度の運営計画について意見を伺った。2回目には年度内2回実施した園評価の推移を伝え、園運営についての振り返りや今後の園運営についてアドバイスをいただいた。

また、11月11日のはなさき仙北研修会公開保育への参加では、子どもと触れ合った感想や保育者とこどもの関わりについて貴重な意見をいただくことが出来た。

(2) 職員会議

定例会議(毎月)、各委員会会議、行事担当者会議

(3) 各委員会会議

避難訓練・安全指導については年間計画に基づいて各月の実施を主幹保育教諭が遂行し、参加後の反省等を学級担任から出してもらうようにした。副園長、学級担任側からの要望で昨年度の取り組みをヒヤリハット委員会として立ち上げ継続していくことにつながった。

(4) 食育委員会

毎月開催。給食全般についての意見・情報交換とアレルギー児の情報の共有。

食育の進め方について話し合う。

2回のなべっこ活動や、栽培野菜のことについても話し合い、振り返りを行った。

9. 災害訓練・健康管理・衛生管理等実施内容

(1) 災害訓練

避難訓練(毎月)、総合避難訓練(9月)、不審者対応訓練(11月)、引き渡し訓練(5月)
安全点検(毎月)、安全指導(毎月)

(2) 健康管理

園児:内科検診(5月・10月)、歯科検診(6月)、入園時内科検診(随時)

尿検査、視力・聴力検査(3歳以上児)

職員:健康診断(年1回)、給食関係者及び乳児担当者検便(毎月)

給食関係者、乳児担当者(ノロウイルス検査6回)

(3) 衛生管理

清掃、防虫駆除、消毒

10. 一時預かり事業

(1) 幼稚園型…仙北市預かり保育事業業務を受託して実施。延べ利用者人数は、0人。

(2) 一般型 …仙北市一時保育事業業務を受託して実施。延べ利用者人数は、15人。

11. 地域子育て支援拠点事業

子育て支援室において、専属の職員を配置して、毎週木曜日9時30分から11時30分まで「なかよしひろば」を開催した。

7年度は9回開催。利用者人数は、延べ18人(9組)であった。

令和7年度 幼保連携型認定こども園 ひのきないこども園 事業報告書

1. 概況報告

小規模な園の良さを生かし大きな家族のような異年齢が自然に混ざり合い、全職員で全園児にかかわる園経営を行う。

また、常に年齢が混ざり合うだけでなく、年齢ごとに育まれていく経験の積み重ねができるよう年齢ごとの活動を意識した環境に努める。

地域の中で大事にされている多世代の交流も積極的に取り入れ、様々な活動ができるよう心がけて過ごす。

(1) 教育・保育部門

「豊かな心もちいきいきと遊ぶ子ども」を園目標に、園の子どもの姿を話し合う中で、重点目標を「友達と思いを伝え合い、お互いを認め合う」とした。

友達と関わって遊ぶことが楽しい、と思える子どもの育ちを支えられるよう、心の動きや、つぶやきを見逃さないことで、興味関心を読み取り「個」から「集団」へ広がるような関わりを意識する。

子どもたちも、経験したことを年長児が中心となり、誘い合い、一緒に遊びを楽しむ姿が多くなる。

また、発達の過程を踏まえながら、子どもの育ちを家庭、地域にも発信し、共に支えて育てていく協力体制をつくっていくことを心がけてきた。

(2) 給食部門

「楽しく食べる子どもに」を目標に、食育計画を作成し、計画的に指導をしている。

毎月の献立表には、季節の食育に関する内容やレシピも載せて、家庭でも作れるよう発信している。毎日の給食展示は、写真展示になる。また、一人一人の誕生日に誕生を迎える子どものリクエストメニューを献立に入れてもらう。

「畑栽培」では、じゃがいも、さつまいもや大根など、様々な野菜の収穫の喜びと共に、給食の食材に入れてもらったり、クッキングをしたりしながら、みんなで食べる喜びを感じると共に、食に対する関心がより一層深まる。

2. 利用定員

(単位:人)

年 齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
1号認定				1人	1人	1人	3人
2・3号認定	2人	3人	3人	3人	4人	5人	20人

3. 認定別・月別園児数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1号認定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2・3号認定	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
合 計	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96

4. 月別活動記録(園児分)

月 日	活動内容	成 果	月 日	活動内容	成 果
4月1日	R7年度始まりの会	一つ大きくなったことを祝う	10月15日	フッ化物洗口指導	歯磨きの指導
4月7日	新しいお友達を迎える会	赤ちゃんを迎える	10月25日	仙北市産業祭参加	地域の行事に参加
4月23日	保育参観	進んだクラスでの子の姿を見もらう	10月29日	園外保育 4.5歳（農業科学館）	りんごの収穫と散策
4月28日	お花見会	にこにこども園と交流	10月31日	総合避難訓練	煙道訓練 制服着用
5月9日	園外保育 農業科学館	りんごの花を観察	11月4日	焼いも会	収穫した芋を食べる
5月14日・17日・30日	じゃがいも、さつま芋、かぼちゃ等の苗植え	畑栽培	11月19日	人形劇鑑賞（神代こども園）	人形劇を楽しむ
5月26日	全市一斉引き渡し訓練	小と合同で行う	11月21日	ハピネッツ運動教室(5歳児)	体を動かすことを喜ぶ
6月1日	桜木内大運動会	地域との交流	11月22日	親子活動（運動、ケーキ）	親子で楽しむ
6月3日	お里帰り交流会	一年生との交流を楽しむ	12月5日	1,2年と交流会(5歳児)	小学生との交流
6月13日	親子遠足（大森山動物園）	親子の触れ合いを楽しむ	12月15日	高齢者との交流会 いきいきサロン	地域の方と触れ合い
6月18日	フッ化物洗口指導	歯磨きの指導	12月24日	クリスマス会	季節の行事
6月30日	重機体験学習会	にこにこども園と交流	12月18日	桜中3年家庭科授業交流	地域の方と交流
7月7日	七夕	季節の行事	12月26日	大掃除	きれいになった心地よさを
7月8日	ケセランパサラン読み聞かせ	お話に親しむ	1月5日～17日	紙風船制作	地域の行事の準備
7月11日	保育参観	個々の成長を感じる	1月21日	保育参観、紙風船組み立て	子どもの成長を確認 伝統行事を楽しむ
7月24日	園外保育(田沢湖)	地域の良さを感じる	2月3日	豆まき会	季節の行事
7月29日	小学校のプール遊び開始	4,5歳児プール遊びをする	2月10日	紙風船上げ	地域の行事
8月22日	じゃがいも等の収穫	収穫の喜びを感じる	2月18日	小学校体験入学(5歳児)	入学を楽しみにする
8月21日	不審者対応訓練	指示に従って避難	2月19日	園外保育 3～5歳児（田沢湖スキー場）	そり遊びを楽しむ
8月28日	大根の種まき	畑栽培	2月20日	交通安全教室(5歳児)	交通安全母の会の方から交通安全を学ぶ
9月10日	カレークッキング	収穫した野菜を使う	3月3日	ひな祭り、お茶会	季節の行事
9月18日	園外保育（大森山動物園）	動物を見て気づきを言葉で表現	3月10日	お別れ会	一年を振り返り楽しむ
9月20日	親子お楽しみ会	親子や友達とゲームなどで楽しむ。	3月11日	祖父母参観日	大きくなった姿を見もらう
10月3日	サツマイモの収穫	収穫の喜びを感じる	3月14日	卒園式	卒園を祝う
10月5日	園小合同発表会	表現活動	3月25日	修了式	成長を喜び合う
毎月実施～安全指導・避難訓練 内科検診(5月、10月) 歯科検診・尿検査(6月) 視力、聴力検査(7月)) 一人一人の誕生日に祝う(随時) 保護者会クリスマスイルミネーション設置・撤去(11月・1月) サッカー教室5歳児(年4回) クッキング(随時)					

5. 職種別職員配置状況

(令和8年 3月 31日現在)

	園長	副園長	保育教諭	保育補助	栄養士	調理員	調理補助	用務員	嘱託医薬剤師	合 計
正規職員	1	1	5			1				8
準 職 員			1	1	1			1		4
パート職員 (准職員)				1						1
委託職員									3	3
合 計	1	1	6	2	1	1		1	3	16

*地域子育て支援拠点事業 配置職員 1名 一時預かり事業 配置職員 1名

6. 教育・保育の提供時間及び職員の勤務体制・勤務時間

開 園 時 間	： 7 時 30 分～18 時 30 分	勤務体制・勤務時間
教育標準時間認定	： 8 時 30 分～15 時 30 分	早 出 ： 7 時 30 分～16 時 15 分
保育標準時間認定	： 7 時 30 分～18 時 30 分	日 勤 ： 8 時 30 分～17 時 15 分
保育短時間認定	： 8 時 30 分～16 時 30 分	遅 出 ： 9 時 45 分～18 時 30 分
*保育認定は、上記の範囲内で必要とする時間		

7. 職員研修実績

(1) 園外研修

リモート研修等、開催された研修には、積極的に参加し、保育の専門性と保育の質の向上を目指した。参加研修回数は、38回で述べ 52 人が参加する。

また、はなさき研修会は、8 回で延べ 15 人が参加する。当園保育公開の際は、架け橋コーディネーター兼教育・保育アドバイザーと評議員の方にも参加してもらい研修会を行う。

(2) 園内研修

テーマを「一緒に遊ぶって楽しいね」～友達と思いを伝え合い、お互いを認め合う～とした。年間計画を立て、各年齢の研究の視点をもとに、園内公開保育、各年齢の実践事例から保育を語り合い、子どもの姿の変容や今後の手立て等について研究を進めた。

特別支援教育研修会は、センター的機能を利用し、教育専門官の先生から指導を受ける。昨年の指導のもと、保育者の手立てと、個々の園児の変容する姿を伝え、今後の指導に生かすことができるよう、適切な指導・援助のアドバイスをいただく。

8. 学校評議員会・職員会議・運営委員会・給食会議等実施内容

(1) 学校評議員会

学校評議員会を7月と2月の2回開催する。1回目は、保育参観と園運営全般を伝える。2回目は、保育参観と職員の自己評価や保護者アンケートの集計を基に、貴重な意見をいただき、今後の園運営の方向性を確認することができた。

(2) 職員会議

定例会議(毎月)、各委員会会議・行事担当国会議・特別支援委員会等(随時)
毎週金曜日に来週の打ち合わせ等を行う。

(3) 運営委員会

生活と保育の状態を確認しつつ、行事、研修、保護者支援等の運営全般にわたり話し合う。
(メンバー構成～園長、副園長、子育て支援、一時保育担当者)

(4) 給食委員会、食育委員会

給食全般についての意見・情報交換と、アレルギー児の情報の共有。
食育の進め方、クッキングについて話し合う。

9. 災害訓練・健康管理・衛生管理等実施内容

(1) 安全指導・避難訓練(毎月)、総合避難訓練、安全点検、不審者対応訓練

アレルギー対応訓練、嘔吐処理研修、AED訓練、消火訓練、発電機作動訓練

(2) 健康管理

園児：内科検診(5月・10月)、歯科検診(6月)、入園時内科検診(随時)

脊柱・運動器保険調査、尿検査(3歳以上児)、視力・聴力検査(3歳以上児)

職員：健康診断(年1回)、職員全員検便(年2回)

給食関係者・調乳担当者の検便(月2回)

給食関係者・調乳担当者(ノロウイルス検査6回)

(3) 衛生管理

清掃、消毒(毎日玩具等)、室温、湿度、防虫駆除

薬剤師による検査(ダニ、騒音、採光、室温、湿度等)

職員、園児共に手洗い、うがいの徹底

保護者、職員は、個人での判断のもと、マスク着用で園内の出入り

園児、保護者、職員が体調のすぐれないときは、安静を第一に感染予防に努める

10. 一時預かり事業

(1) 幼稚園型…利用者の見込みのないことから業務委託を中止する。

(2) 一般型 …仙北市一時保育事業業務を受託して実施。 利用者は、のべ9人だった。

11. 子育て支援拠点事業

子育て支援室において、専属の職員を配置し、毎週水曜日9時30分から11時30分まで「さくらんぼルーム」を開催した。34回開催し、参加はなかった。

7月・8月は、5園の合同で、西木庁舎の市民休憩室を会場に「ミニ夏祭りを楽しもう」「喫茶はなさき」と称して手づくりおやつづくりをする。合計12組の参加だった。

12. 地域との連携(園・小・中の連携含む)

桧木内地区の敬老会に参加する予定だったが、8月の大雨災害で中止になる。

地域の高齢者の方との触れ合いを大事にし、上桧木内地区のいきいきサロンの方々との交流を行う。

冬の上桧木内地区の紙風船上げの伝統行事は、絵の制作から保護者と一緒に行い、地域の方の協力で、園児と保護者で一緒に組み立て完成させた。それぞれの家庭で、現地まで来てくれて紙風船を上げることができた。

小学校とは、就学児が小学校へスムーズに移行できるように、園と小学校の連携事業の年間計画を作成して実施している。

子ども達の交流として、お里帰り保育や生活科の中で1・2年生との交流も多く、5年生と交流もでき就学への期待が膨らむ。

5月小学校に移動し合同引き渡し訓練を一緒に行う。

6月の園小中合同の桧木内大運動会の実施。

10月小学校の発表会に一緒に参加し、同日行われた中学校の清流祭の見学した家族もいた。発表会に向かって小学校のステージを7回お借りする。

夏には、小学校の広いプールを借り、4・5歳児が思いっきり泳ぐことができた。

中学3年生の家庭科の授業の中で園児と触れ合う。園児も楽しい時間となる。

職員の交流は、小学校の指導主事訪問(年2回)の際、全職員が交代で授業参観と協議にも参加する。

7月の園訪問(指導主事訪問)は、小学校から2名の参加をしてもらい、保育参観と協議を行う。

また、年度末に放課後児童クラブの方、小学校の先生と生活状況、家庭状況等新入学児童の引継ぎを行う。

令和7年度 幼保連携型認定こども園 角館こども園 事業報告書

1. 概況報告

気候変動による暑さ対策、熊出没に関する対応、感染症拡大防止、災害や不審者侵入等に備えた危機管理を行い、健康かつ安全な環境づくりに配慮しながら活動に取り組んできた。活動によっては内容が制限されることも多くなっているため、季節ならではの体験や遊びについても工夫しながら柔軟に対応し、経験の場を保障できるよう努めてきた。

保護者の方々からは園での取り組みへの理解と協力を得ながら、一人一人のありのままの姿を受け止め、共に子どもの育ちを支えられる関係づくりに努めてきた。年々増加する支援児への対応については、保護者との信頼関係を大事に築くとともに、他機関との連携をさらに深めてきた。一人一人が安心して過ごせる環境や関わりについて話し合いを重ねながら内面理解への意識を高め、園全体で育ちを支えていける体制づくりに努めてきた。

(1) 教育・保育部門

「心豊かでたくましい子の育成」を教育・保育目標に掲げ、前年度に引き続き「一人一人の興味関心に寄り添った環境構成」を重点とし、子ども一人一人の育ちや思いに寄り添った環境づくりに努めてきた。それぞれの年齢に合った関わりと環境に視点を置き、一人一人が心揺れ動く瞬間に目を向けながら、環境の見直しを図ってきた。職員数が多いことを強みに、職員同士も互いによさを認め、学びながら高め合える関係性を大事に、保育の質の向上に努めてきた。園全体で子どもの育ちを理解し支えていこうとする意識も高まってきている。

小学校との連携の部分では「仙北市幼保小の架け橋プログラム」をもとに共通理解を深めるとともに、様々な交流、保育・授業体験等を取り入れながら、スムーズな就学への移行を目指してきた。

(2) 給食部門

食を営む力の育成に向け、その基礎を培うために、日々の生活と遊びを通して、園児が自ら食に関わる体験を積み重ねていくことを重視し取り組んできた。よく遊ぶことで「お腹のすくりズム」を整えたり、身近な野菜の栽培や収穫した食材を使ったクッキングを取り入れたりとしながら、様々な経験の場を意識し、より食に関心をもてる環境づくりに努めてきた。また3, 4, 5歳児の米飯給食の無償提供により、炊きたての米飯を口にする事で、さらに食への意欲が高まった。身近な人と一緒に食事をする楽しさも味わわせながら、心身の健やかな成長に欠かせない「食」についての大切さを学べるよう努めてきた。

アレルギー児に対しては、家庭との連携を図るとともに、安全に配慮しながら除去食を提供し、他児と同様に楽しい食事ができるよう配慮してきた。

2. 利用定員

(単位:人)

年 齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
1号認定				4人	4人	4人	12人
2・3号認定	15人	30人	30人	32人	33人	30人	170人

3. 認定別・月別園児数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1号認定	4	5	5	4	4	5	6	6	6	6	6	6	63
2・3号認定	163	163	164	171	170	168	167	167	167	169	169	164	2002
合 計	167	168	169	175	174	173	173	173	173	175	175	170	2065

4. 月別活動記録(園児分)

月 日	活動内容	成 果	月 日	活動内容	成 果
4 月 1 日	新年度保育開始		10 月 15 日	施設訪問(5 歳児) 花笑の庭	地域の施設との交流
4 月 7 日	入園式	入園を祝う	10 月 16 日	園外保育(4歳児) ふるさと村	体を動かして楽しむ
5 月 16 日	尿 検 査 (3 ～ 5 歳 児)	健康状態を把握	10 月 20 日	総合避難訓練	危機管理
5 月 16 日	内科検診I (0 ～ 2 歳 児)	健康状態の把握	10 月 20 日	内科検診II (3 ～ 5 歳 児)	健康状態の把握
5 月 19 日	内科検診I (3 ～ 5 歳 児)	健康状態の把握	10 月 23 日	内科検診II (0 ～ 2 歳 児)	健康状態の把握
5 月 26 日	引き渡し訓練	危機管理	10 月 25 日	仙北市産業祭(5 歳児)	地域の行事に触れる
5 月 29 日	園外保育(3 歳児) 神代こども園	他園児との交流	11 月 8 日	発表会①(3,4 歳児)	様々な表現を楽しむ
5 月 30 日	さつまいも苗植え	野菜の栽培を経験する	11 月 10 日	発表会②(3,4 歳児)	様々な表現を楽しむ
6 月 3 日	歯科検診(3 ～ 5 歳児)	歯の健康状態を把握	12 月 6 日	発表会①(5歳児)	様々な表現を楽しむ
6 月 6 日	園外保育(5 歳児) 大森山動物園	動物に親しみをもつ	12 月 8 日	発表会②(5歳児)	様々な表現を楽しむ
6 月 10 日	歯科検診(0 ～ 2 歳児)	歯の健康状態を把握	12 月 18 日	不審者対応訓練	危機管理
6 月 10 日	園外保育(4 歳児) ラベンダー園	自然に親しむ	12 月 24 日	クリスマス会	季節の行事に触れる
6 月 24 日	総合避難訓練	危機管理	1 月 14 日	園外保育(5 歳児) たざわ湖スキー場	季節の遊びを楽しむ
7 月 5 日	七夕	季節の行事に触れる	1 月 21 日	園外保育(3 歳児) たざわ湖スキー場	季節の遊びを楽しむ
7 月 19 日	夏祭り(全園児)	親子で行事を楽しむ	2 月 3 日	節分	季節の行事に触れる
8 月 1 日	園外保育(5 歳児) 角館小学校	水に触れて楽しむ	2 月 5 日	保育参観・体験入学 (5 歳児)	育ちの共通理解
8 月 19 日	園外保育(4 歳児) プールパークみさと	水に触れて楽しむ	2 月 6 日	園外保育(4 歳児) たざわ湖スキー場	季節の遊びを楽しむ
8 月 20 日	園外保育(5 歳児) プールパークみさと	水に触れて楽しむ	2 月 20 日	保育参観(3, 4 歳児)	育ちの共通理解
8 月 26 日	不審者対応訓練	危機管理	2 月 21 日	田沢湖高原雪まつり (5 歳児)	地域の行事に触れる
9 月 8 日	小若曳き山 (4,5 歳児)	地域の伝統に触れる	2 月 27 日	保育参観(0 ～ 2 歳児)	育ちの共通理解
9 月 24 ～ 26 日	フリー参観(全園児)	育ちの共通理解	3 月 3 日	ひな祭り お茶会(5 歳児)	伝統行事に触れる 茶道を学ぶ
10 月 4 日	運動会(全園児)	体を動かす心地よさを 味わう	3 月 10 日	卒園おめでとうの会	感謝の気持ちをもつ
10 月 7 日	園外保育(5 歳児) ふるさと村	体を動かして楽しむ	3 月 11 日	祖父母参観(5 歳児)	成長を喜び合う
10 月 10 日	園外保育(3 歳児) 神岡中央公園	体を動かして楽しむ	3 月 14 日	卒園式	卒園を祝う
10 月 10 日	さつまいも掘り	収穫を楽しむ	3 月 19 日	修了式	成長を喜び合う

毎月実施～誕生会・安全指導・避難訓練

保護者会環境整備(5月、7月、9月)

5. 職種別職員配置状況

(令和 8 年 3 月 31 日現在)

	園長	副園長	保育教諭	保育補助	栄養士	調理員	調理補助	用務員	嘱託医薬剤師	合 計
正規職員	1	2	24		1	1		1		30
準 職 員			9	6		2	2			19
委託職員									3	3
合 計	1	2	33	6	1	3	2	1	3	52

*地域子育て支援拠点事業 配置職員 1 名 一時預かり事業 配置職員 2 名

6. 教育・保育の提供時間及び職員の勤務体制・勤務時間

開 園 時 間	： 7 時 30 分～18 時 30 分	勤務体制・勤務時間
教育標準時間認定： 8 時 30 分～15 時 30 分		早出 ： 7 時 30 分～16 時 15 分
保育標準時間認定： 7 時 30 分～18 時 30 分		8 時 ： 8 時 00 分～16 時 45 分
保育短時間認定 ： 8 時 30 分～16 時 30 分		日勤 ： 8 時 30 分～17 時 15 分
		9 時 ： 9 時 00 分～17 時 45 分
		遅出 ： 9 時 30 分～18 時 15 分
		遅出 ： 9 時 45 分～18 時 30 分

7. 職員研修実績

(1) 園外研修

職員全体が、満遍なく研修に参加することで、園全体の資質の向上に努めた。外部での研修、オンラインでの研修、双方ともに意欲的に研修に取り組むことができた。研修を重ねることで視野が広がり、保育に対する知識の習得、子どもの姿を見取る力にも繋がっていった。参加研修回数69回、延べ参加人数145名。うち、はなさき仙北研修会には延べ60名が参加。それぞれの園での公開保育や情報交換、新たに取り入れられたフレッシュマン研修、手遊び・玩具研修等、実践を含め他園との話し合いを深めることで自園の保育を振り返るとともに、子どもの姿や育ちを再発見し、次の保育へつなげていくための手がかりを探ることができた。

(2) 園内研修

前年度に引き続き「一人一人の興味関心に寄り添った環境構成」を重点におき、研究テーマを「なんだろう？やってみたい！と遊びを楽しむ子どもを目指して」、サブテーマを「ワクワクが生まれる環境を支える保育を探る」とし研修を重ねた。前年度の研修から、成果と課題を見出し、十分に深められなかった「意図的な環境づくり」にポイントを絞りで、研修をすすめた。ワクワクが生まれる環境には保育者の意図的な環境づくりや見取り、内面理解が欠かせないことを共通理解し、常に環境を見直ししながら遊びの充実を目指した。全職員が研修の目的を意識しながら取り組むことで、職員一人一人の意識にも変化がみられるようになり保育の向上にもつながってきている。

8. 学校評議員会・職員会議・運営委員会・給食会議等実施内容

(1) 学校評議員会

定例会議は2回実施し、園での取り組みや現状について説明を行い、その後、子どもたちが活動に向かう姿をご覧いただいた。その他、はなさき仙北研修会における公開保育も参観していただいた。また、3月には自己評価を基に委員の方々から、園運営の改善につながる評価とご意見をいただくことができた。

(2) 職員会議

定例会議(毎月・※4月は2回開催)、各委員会会議、行事担当者会議

(3) 運営委員会

生活と保育の状態を確認しつつ、職員全体に周知すべきこと、行事、研修、保護者支援等、運営全般にわたり話し合う。(メンバー構成～園長、副園長)

(4) 給食委員会等

毎月開催。給食全般についての意見・情報交換とアレルギー児の情報の共有。

嘔吐物処理の仕方やアレルギー対応についての実施訓練も行う。

(5) 安全管理委員会

事例が発生した場合に随時開催。避難訓練、安全指導及びヒヤリハット事例、事故報告を基に改善策について話し合う。

9. 災害訓練・健康管理・衛生管理等実施内容

(1) 災害訓練

避難訓練(毎月)、総合避難訓練(6月・10月)、引き渡し訓練(5月)

安全点検(毎月)、安全指導(毎月)

(2) 健康管理

園児:内科検診(全園児年2回 5月・10月)

入園時内科検診(随時)

歯科検診(全園児年1回 6月)、尿検査(3～5歳児 5月)

視力・聴力検査(3～5歳児 7月～随時)

職員:健康診断(年1回)、給食関係者及び乳児担当者検便(毎月)

給食関係者・乳児担当者(ノロウィルス検査 6回)

その他の職員の検便(年2回)

(3) 衛生管理

清掃、防虫駆除、消毒(感染性の流行期には毎日、保育室・玩具等を消毒)

10. 一時預かり事業

- (1) 幼稚園型…仙北市預かり保育事業業務を受託して実施。 延べ利用者人数は、54人
- (2) 一般型 …仙北市一時保育事業業務を受託して実施。 延べ利用者人数は、69人

11. 地域子育て支援拠点事業

子育て支援室において、専属の職員を配置して、毎週水曜日9時30分から11時30分まで「おひさまルーム」を開催し、子育て中の保護者の交流の場として活用された。「おひさまルーム通信」の発行、月～金曜日までの園開放も行い、気軽に利用できる環境づくりに努めてきた。またはなさき仙北子育て支援合同開催に向けた話し合いを行い、7月、8月には仙北市役所西木庁舎、市民休憩室において開催することができた。今後も他園との情報交換や合同開催を行いながら活動の幅を広げていきたい。37 回開催。利用者人数は、延べ 237 人(116 組)であった。

12. 園児への虐待防止に向けての取組

- (1) 虐待防止マニュアル、チェックシートから、それぞれの保育行為を振り返る。
- (2) はなさき仙北職員倫理行動基準、虐待防止規定を遵守する。